

介護サービス事業所が人手不足に陥っている一方で、市内には元気な高齢者がたくさんいます。そこで、市と介護サービス事業所では、介護職員の仕事を「専門職中心の仕事」と「専門職以外でも可能な仕事」に分け、元気な高齢者の皆さんの活躍を期待しています。これらのことから、月に数回、1回2時間程度、人とつながることができる「ぶちアルバイト」ができるよう、元気な高齢者と人手不足の介護サービス事業所をつなぐ事業を行います。1人で始めるのは不安な人も、複数の人でチームを作って「ぶちアルバイト」を始めてみませんか。

65歳過ぎたら/
介護サービスを支える立役者
「ぶちアルバイト」で
ますます元気に!



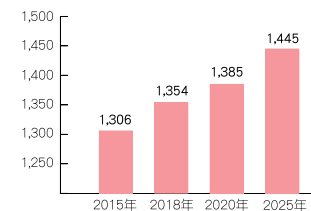
現在、市内の介護サービス事業所（訪問介護事業所を除く）は、深刻な介護職員不足となっています。さらに今後、75歳以上の人口の増加に伴い、ますます多くの介護職員が必要になると見込まれます。そこで市では、元気な高齢者が「ぶちアルバイト」として介護現場で働き、人手不足を補うことができるような仕組みづくりを行います。「まだ働きたい!」「何か人の役に立つことをしたい!」という元気な皆さん、豊富な経験や知識を生かして、介護サービスの現場で社会参加をしてみませんか。
問い合わせ 長寿介護課 中村 ☎0076

介護現場は深刻な人手不足
現在、市内では約2千人の人が介護サービス事業所を利用しています。市が平成30年度に実施したアンケート結果によると、介護サービス事業所（訪問介護事業所を除く）の介護職員などの不足人数は合計53人で、深刻な人手不足に陥っています。
市の介護サービス事業所の現状
表1のとおり、市内の介護サービス事業所では、利用者の増減や職員の確保状況に合わせて、受入定員が変化して

【表1】平成29年4月～平成31年3月末の受入人数の変化

区分	1日当たり	1週間当たり
デイサービス (日中過ごす場所を提供するサービス)	29人分 定員減少	200回分 定員減少
ショートステイ (泊まりのサービス)	18床分 休止	72日分 休止

【図1】市の介護サービス利用者見込みによる必要な介護職員などの推計(単位:人)



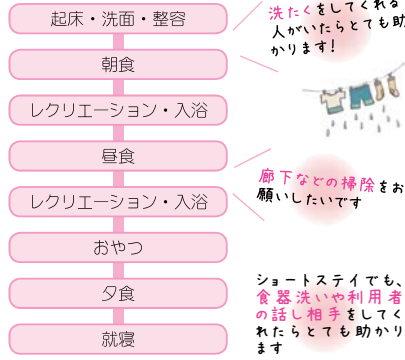
います。これにより、利用者が介護サービス事業所を選ぶときに時間帯や曜日、介護サービスの時間帯などの「選択の幅」が狭まってしまふことが考えられますが、市全体で見ると、現時点では代替サービスなどで対応できています。現在、市内の介護サービス事業所は、必要な職員の基準を満たした上で営業を行っています。しかし、事業所が必要とする職員数の確保は難しく、職員1人当たりの負担が大きくなっています。また、市内の介護保険サービスは75歳以上の利用者が多い状況です。今後、75歳以上の人口の増加に伴い、介護保険サービスの利用者が多くな

ると予想され、図1のとおり、ますます多くの介護職員が必要になると見込まれます。そこで、多くの介護サービスを提供するため「介護ではない部分」を助けてくれる人手を求めています。

「ぶちアルバイト」の例



【特別養護老人ホームの場合】



「ぶちアルバイト」のメリット

- ①今日、行くところがある
→ 心身の衰え防止ができる
- ②収入が得られる
- ③「あなた」を必要としている場所がある
→ 社会貢献になる
- ④世代を超えて、人と話ができる
→ 認知症の予防ができる
- ⑤「都合の良い時間」で働くことができる

あなたの活躍をサポートします!
～研修受講者を募集～

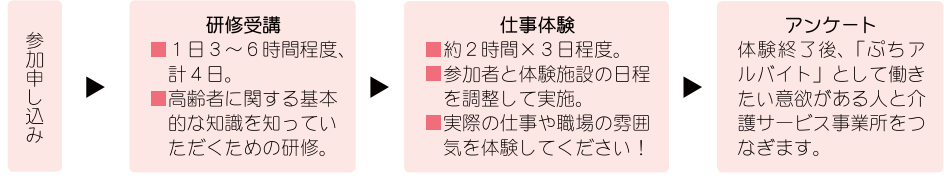
研修期間
8月から開始。
研修21時間(計4日間)+仕事体験

対象者
次の①～③を全て満たす人
①65歳以上で、会場まで自分で来ることができる人
②介護現場で働いてみたい人
③月数回、1回2時間程度の活動が可能な人

研修会場
市総合健康福祉センターさざんか

その他
先着20人、費用は無料です。
申し込みは、長寿介護課まで。
☎0076

参加申し込みからの流れ



専門職中心の仕事	専門職以外でも可能な仕事 (介護ではない部分)
お風呂で体を洗う 着替えの手伝い	風呂の掃除 着替えの準備 洗たく
食べ物に口に運ぶ	調理、配膳、食器洗い

こちら側を
助けてほしい!